

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	保健課	事業No.	131
事務事業名		市民の健康づくり事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		7	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
	分野別計画			飯田市健康増進計画「健康いいだ21」	
				第3次飯田市食育推進計画	
法令・例規等			健康増進法		
			食育基本法		
事業目的		対象	市民		
		意図	健康に関心を持ち、生活習慣を見直して、自分に適した運動・食生活を理解し実践する。		

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった講座等がありました。感染警戒レベルに応じた感染対策を行い開催しました。</li> <li>企業出前健康講座は、新たに飯田市勤労者共済会の共済会だよりに年2回(6月号11月号)広報し新規5企業からの依頼がありました。また、新型コロナウイルス感染症の状況により、オンラインでの講座開催を試みました。</li> <li>消防団健康教室は、感染症拡大による日程変更のため参加者数が減少しましたが、計画した6分団で開催できました。</li> <li>料理実習を伴う事業はほとんどできませんでしたが、園児対象の食育料理体験は3園で行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会計年度任用職員人件費</li> <li>運動等講師謝礼</li> <li>啓発資料・チラシ等消耗品</li> <li>印刷製本費</li> <li>通信運搬費</li> <li>健診委託料</li> <li>PR用品製作業務委託料</li> <li>備品購入費</li> <li>手数料</li> <li>その他の経費</li> </ul>	19	145	336	35	5	306	36	52	11

  

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	食生活改善推進協議会の活動回数	回	140	144						
	消防団健康教室の参加人数	人	180	87						
	プラステン(+10分)の普及啓発回数	回	500	583						
	出前健康講座の実施回数	回	20	10						
	計測機器を活用した健康教室等参加人数	人	700	494						

  

3年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補足事項								
		2,513									
		945	(県)健康増進事業補助金(2/3)								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)ふるさと寄附金							
		県支出金	504								
		地方債	0								
その他		441									
	一般財源	0									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	3	1	3	197	19	会計年度任用職員人件費
2	1	4	1	3	11	2	1,086	406	食育推進事業費
3	1	4	1	3	11	3	182	113	運動による健康づくり事業費
4	1	4	1	3	11	11	1,048	407	青壮年期における健康づくり事業費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベントや講座の開催自体が難しい時期があり、消防団健康教室は当初計画していた時期を変更するなどの影響がありました。企業出前健康講座も依頼数が少なかったものの、2企業でオンラインによる講座開催を試みました。							
上記の課題解決のための有効策		企業出前健康講座では、ネット環境が整っている企業であればオンラインでの講座開催が可能であり、コロナ禍における講座も依頼しやすくなるのが期待できるため、オンライン開催の具体的な方法を検討し周知します。また、消防団健康教室の実施基準や感染拡大時の実施方法について、担当課や組織幹部との打合せで事前に決めておきます。							
次年度に向けての取り組み		感染症予防対策を行いまちづくり委員会等と連携し計測機器を活用した各種講座等を開催します。企業出前健康講座はオンラインでの講座開催方法を検討し、周知します。消防団健康教室を7分団で実施し、若い世代の健康課題分析と解決に向け次期施策につなげます。また、若い世代が楽しみながら健康を自己管理できる仕組みについて研究します。							